

【法197条1項2号による申立て】

財産開示手続申立書

仙台地方裁判所第4民事部 御中

令和____年____月____日

申立人 _____ 印

電話 _____ - _____ - _____

FAX _____ - _____ - _____

当事者 別紙目録のとおり

請求債権 別紙目録のとおり

申立人は、債務者に対し、別紙請求債権目録記載の執行力のある債務名義の正本に記載された請求債権を有しているが、債務者がその支払をせず、下記の要件に該当するので、債務者について財産開示手続の実施を求める。

記

1 民事執行法197条1項の要件

強制執行又は担保権の実行における配当等の手続（本件申立ての日より6月以上前に終了したものを除く。）において、金銭債権の完全な弁済を得ることができなかった。

知れている財産に対する強制執行を実施しても、金銭債権の完全な弁済を得られない。

2 民事執行法197条3項の要件

債務者が、本件申立ての日前3年以内に財産開示期日においてその財産について陳述したことを

知らない。

知っている。

(「知っている。」にチェックした場合は、次のいずれかにチェックする。)

債務者が当該財産開示期日において、一部の財産を開示しなかった
(1号)。

債務者が当該財産開示期日の後に新たに財産を取得した(2号)。

当該財産開示期日の後に債務者と使用者との雇用関係が終了した
(3号)。

(添付書類)

- | | | |
|---|---------------|---|
| 1 | 執行力のある債務名義の正本 | 通 |
| 2 | 同送達証明書 | 通 |
| 3 | 審判確定証明書 | 通 |
| 4 | 資格証明書 | 通 |

(証拠書類)

1 民事執行法197条1項2号の要件

財産調査結果報告書

2 民事執行法197条3項の要件

【記載例】

当 事 者 目 録

〒980-8639

住 所 仙台市青葉区片平〇丁目〇番〇号

(債務名義上の住所)

申 立 人 甲 野 花 子

(債務名義上の氏名)

〒982-1231

住 所 仙台市太白区長町〇丁目〇番〇号

(債務名義上の住所)

債 務 者 乙 野 太 郎

(債務名義上の氏名)

※「債務名義上の住所」、「債務名義上の氏名」の各欄は、当事者の現在の住所又は氏名と債務名義に表示された住所又は氏名が同一の場合は、記載する必要はありません。

【記載例】

請求債権目録

仙台地方 裁判所 古川支部 平成・令和 〇 年(7)第 〇〇〇 号事件の

- 執行力のある和解調書正本
- 執行力のある第 1 回弁論準備手続調書（和解）正本
- 執行力のある第 _____ 回口頭弁論調書（和解）正本
- 執行力のある調停調書正本
- 執行力のある調停に代わる決定正本
- 執行力のある和解に代わる決定正本
- _____ 正本

に表示された下記債権

記

- 1 元 金 金 100万円
ただし、(条項)・主文 第 1 項記載の金員
(最終弁済期 平成・令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日)
- 2 損害金
ただし、上記 1 に対する 平成・令和 5 年 7 月 21 日から支払済みまで年
3% (年 3 6 5 日の日割計算) の割合による損害金

- なお、債務者は 平成・令和 5 年 6 月 20 日 (■及び 平成・令和 5 年 7 月 20 日) に支払うべき分割金の支払を怠ったため、同日の経過により期限の利益を喪失した。
- なお、債務者は 平成・令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日 及び 平成・令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日に支払うべき分割金の支払を怠り、かつ、その額が金 _____ 円に達したので、同日の経過により期限の利益を喪失した。

◎ 該当する年号等を丸囲みし、□に✓又は■を記入する。